

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成25年度採択分）
 「Journal of the Meteorological Society of Japan の日本気象学会による国際情報発信強化の取組」
 （課題番号：252005）

学術団体名：公益社団法人 日本気象学会
 学術刊行物の名称：Journal of the Meteorological Society of Japan
 事業期間：平成25年度～平成29年度

1 取組の概要

以下の方策を通じて、Journal of the Meteorological Society of Japan (JMSJ) および掲載論文の国際的な評価を高める。

- 1. 国内外の論文投稿数の増加**：論文投稿の促進のため、特集号・特別号への出版費助成・投稿費補助等、投稿料の減免を行う。
- 2. 論文の質の向上**：内外の著名な研究者へのレビュー論文の依頼。海外レフリーによる査読の比率の増加。国外な研究者を編集委員に加える。編集委員会制の改善。英文校正の充実。
- 3. 広報の強化によるJMSJおよびJMSJに掲載された論文の国際的な認知度の向上**：広報活動の強化。英文のリーフレットの作成、国際学会等で配布。広報担当の編集補佐を雇用し、WEB、SNS、e-mailサービスを開始する。
- 4. 特別号・特集号の刊行推進**：特別号・特集号を5年間で10号程度刊行する。国内外（特に東アジア）で国際会議あるいはスペシャルセッションを開催し、会議のテーマに基づいた特別号・特集号を刊行する。編集スタッフによる編集作業支援の拡充。
- 5. オープンアクセス電子ジャーナルとしての、利便性の向上**：電子投稿システム、公開システムの利便性の向上。オンライン化について、電子補助媒体の掲載を開始。ハイライト論文、論文賞論文の紹介ページの充実。最新号情報のe-mailサービスを開始。



JMSJ Web page : Web メニュー

- Early Online Releases
- Just Released
- Highlights
- Graphical Abstracts
- JMSJ Awards
- Special Issues and Editions
- Invited Review Articles
- Most Accessed Articles
- Most Cited Articles

2 目標の達成状況

・**現在までの目標の達成状況** インパクトファクターは、2013年1.318, 2014年1.250と向上した。

- 1. 国内外の論文投稿数の増加**：投稿数は2011年の69編から、2014年は115編に増加。国外からの投稿数の比率は50%程度へ向上。
 - 2. 論文の質の向上**：レビュー論文について、2012年以降5編を掲載、現在13編を依頼中である。国外の査読者の割合は2015年に52%に向上。現在2名の海外研究者を含め25名によって編集委員を構成している。編集委員会を電子メール審議に移行し、受理の迅速化を達成。全ての採択論文に対し、英文校正をかける。
 - 3. 広報の強化**：英文のリーフレットを作成し、国際学会等で配布。広報担当の編集補佐の雇用により、WEBの新規開設、SNSサービスの開始、Early Online Release、Graphical Abstract、cite d alertサービス等を実施。
 - 4. 特別号および特集号の刊行推進**：2012年以降10号を企画。2014年の国際会議を対象に特集号を企画し、投稿料の減免措置を講じた。会員の負担軽減のため、編集作業を編集事務局に移行。
 - 5. オープンアクセス電子ジャーナルとしての、利便性の向上**：論文のvisibility向上のために多様な取り組みを実施した。
- ・**今後の計画** 論文の質の向上を図ることを目標とする。編集委員・会員のネットワークを活かした国際化の推進、WEB、SNSサービスの拡充による論文のvisibilityの向上、出版の迅速化。

